



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名 ハリマ化成株式会社

コード番号 4410 URL <http://www.harima.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長谷川 吉弘

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 金城 照夫

TEL 06-6201-2461

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	55,219	77.3	3,064	41.5	1,920	△12.5	1,118	9.6
23年3月期第3四半期	31,143	26.3	2,165	89.6	2,195	73.5	1,020	31.1

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,125百万円 (14.0%) 23年3月期第3四半期 987百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	43.09	—
23年3月期第3四半期	39.32	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	65,972	29,917	43.3
23年3月期	63,983	29,313	43.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 28,581百万円 23年3月期 27,979百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
24年3月期	—	7.00	—		
24年3月期(予想)				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	75.9	3,200	10.0	2,100	△24.1	1,300	△2.8	50.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	26,080,396 株	23年3月期	26,080,396 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	130,950 株	23年3月期	130,808 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	25,949,531 株	23年3月期3Q	25,950,746 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
参考資料	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧米で景気減速感が増し、先行き不透明感が強まるとともに、これまで牽引してきた中国においても減速傾向が見られました。わが国の経済は、東日本大震災の影響による生産活動が低下していた自動車産業などでサプライチェーンの立て直しが進み、生産活動が回復するなど、景気に改善傾向が見られたものの、円高や海外経済の減速による輸出環境の悪化など、厳しい状況が続きました。

当社グループを取り巻く経営環境では、主力原料であるロジンは、中国ガムロジン価格が4月までの騰勢から一転して大幅な値下がりに転じた影響により、製品販売価格の値下げ圧力が強まる一方で、在庫ロジン価格の影響により、採算が悪化してまいりました。

その結果、当社の当第3四半期連結累計期間の連結業績は、ローター社が連結子会社に加わり、主に海外売上高が増加したことなどで、売上高は552億1千9百万円となり、前年同四半期に比べ240億7千5百万円(77.3%)の増収となりました。

利益面では、在庫原料価格の影響を受けましたが、ローター社の業績が寄与し、営業利益は30億6千4百万円で、前年同四半期に比べ8億9千8百万円(41.5%)の増益となりました。

また、為替レートの影響による為替差損発生により、経常利益は19億2千万円で前年同四半期に比べ2億7千4百万円(△12.5%)の減益、四半期純利益は11億1千8百万円となり、前年同四半期に比べ9千7百万円(9.6%)の増益となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概況は次の通りであります。

#### (樹脂化成品)

インキ用樹脂の需要は、海外においては、財政、金融不安で欧州経済が悪化する影響を受け、欧米市場を主力とするローター社が販売数量を減らすとともに、主力原料の在庫ロジン価格の影響を受け、業績が低迷しました。国内においても、円高による影響で、輸出関連製品を中心に低調に推移しました。塗料用樹脂は、汎用錆止め、建築用が引き続き好調に推移しました。合成ゴム用乳化剤は、主たる用途先の自動車業界で、タイヤの洪水による影響で一時的に低迷しましたが概ね堅調に推移しました。

その結果、当部門の売上高は、ローター社が連結子会社に加わり主に海外売上高が増加したことなどで、387億7百万円と前年同四半期に比べ239億8千1百万円(162.9%)の増収となりました。経常利益は21億9百万円と前年同四半期に比べ7億3百万円(50.0%)の増益となりました。

#### (製紙用薬品)

国内の製紙業界は、東日本大震災の影響により、紙・板紙の生産量が前年同期比で一時的に減少しましたが、当第3四半期に入り前年同期と同じレベルに回復しました。しかし、円高による紙・板紙輸入量の増加、輸出量の減少など、国内の製紙業界におきましては厳しい状況が続く、当社グループの製紙用薬品事業も厳しい環境が続きました。

一方、海外では、中国の紙・板紙生産量の増加率が鈍化して、製紙メーカー間の競争及び製紙用薬品の競合がますます激しくなっていますが、当社の製紙薬品は中国、米国で伸長しました。

その結果、当部門の売上高は101億2千8百万円で、前年同四半期に比べ3億2千8百万円(3.4%)の増収となりました。経常利益は6億6千2百万円と前年同四半期に比べ1億5千万円(29.5%)の増益となりました。

(電子材料)

自動車業界では、国内生産台数が前年同期を若干上回り回復基調にあるものの、電子機器業界では、民生用電子機器分野で薄型テレビの生産台数が前年を大きく下回りました。カーオーディオやカーナビゲーションの生産は、自動車生産台数の増加に伴い前年同期を上回り回復基調となりました。

当部門では、新規製品を含め自動車関連製品の販売により、民生用電子機器向け販売の減少を一部カバーしましたが、原料金属の騰勢の影響を受け利益は大幅に減少しました。

その結果、当部門の売上高は35億6千8百万円と前年同四半期に比べ8千6百万円(△2.4%)の減収となりました。経常利益は1億4千4百万円と前年同四半期に比べ1億1百万円(△41.3%)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は659億7千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億8千8百万円増加となりました。自己資本比率は43.3%となりました。増減の主なものとして、流動資産では売上高の増加に伴い受取手形及び売掛金が25億7千2百万円増加しております。負債では短期借入金を長期借入金に借換えたため、短期借入金が81億3千3百万円減少し、長期借入金が83億4千万円増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今期の見通しにつきましては、世界経済は緩やかな景気回復基調にはあるものの、米国での財政赤字拡大や失業率の高止まり、欧州での信用不安などの懸念、中国での景気過熱抑制の動きなどがあり、先行き不透明な状況が続くと予想されます。

わが国経済においても、電力供給不足や円高による輸出産業への影響が引き続き懸念されます。

このような状況を踏まえ、ハリマ化成グループは、海外でのロジン関連事業を担うローター社の運営を軌道に乗せ、樹脂化成品事業の発展に繋げるとともに、グループ各社の連携を深めグループ力を最大限に発揮することにより、パインケミカル分野での真の世界一をめざし、事業を推進してまいります。

なお、当期(2011年4月1日から2012年3月31日)の通期の業績予想につきましては、本日(2012年2月3日)付で開示しております「為替差損の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」で数値を修正しております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2011年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2011年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,961,796	5,370,310
受取手形及び売掛金	17,113,605	19,685,620
商品及び製品	4,594,361	5,113,695
原材料及び貯蔵品	5,838,933	5,805,125
その他	2,858,196	2,665,056
貸倒引当金	△38,193	△118,035
流動資産合計	36,328,701	38,521,773
固定資産		
有形固定資産		
土地	10,608,726	10,483,882
その他(純額)	10,622,875	10,766,836
有形固定資産合計	21,231,601	21,250,719
無形固定資産		
その他	1,137,933	1,097,906
無形固定資産合計	1,137,933	1,097,906
投資その他の資産		
その他	5,298,379	5,115,123
貸倒引当金	△13,465	△13,465
投資その他の資産合計	5,284,913	5,101,657
固定資産合計	27,654,449	27,450,283
資産合計	63,983,150	65,972,056

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2011年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2011年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,787,057	8,584,970
短期借入金	17,254,593	9,121,257
1年内返済予定の長期借入金	615,334	1,719,751
未払法人税等	411,261	512,401
役員賞与引当金	66,910	75,737
その他	3,514,921	3,755,567
流動負債合計	30,650,078	23,769,684
固定負債		
長期借入金	555,006	8,895,456
長期預り保証金	1,128,779	1,096,969
退職給付引当金	772,570	815,303
役員退職慰労引当金	418,097	424,977
資産除去債務	44,837	45,288
その他	1,100,475	1,007,365
固定負債合計	4,019,766	12,285,360
負債合計	34,669,844	36,055,045
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,012,951	10,012,951
資本剰余金	9,744,379	9,744,379
利益剰余金	9,267,175	9,996,224
自己株式	△61,735	△61,830
株主資本合計	28,962,771	29,691,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	182,165	4,219
為替換算調整勘定	△1,165,864	△1,114,131
その他の包括利益累計額合計	△983,698	△1,109,912
少数株主持分	1,334,233	1,335,198
純資産合計	29,313,306	29,917,011
負債純資産合計	63,983,150	65,972,056

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2010年4月1日 至2010年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2011年4月1日 至2011年12月31日)
売上高	31,143,634	55,219,027
売上原価	23,536,619	44,007,696
売上総利益	7,607,015	11,211,330
販売費及び一般管理費	5,441,029	8,147,131
営業利益	2,165,985	3,064,199
営業外収益		
受取利息	27,971	34,182
受取配当金	53,319	52,099
不動産賃貸料	99,217	99,408
その他	118,024	93,003
営業外収益合計	298,532	278,694
営業外費用		
支払利息	139,614	344,403
為替差損	57,750	777,821
その他	71,506	299,898
営業外費用合計	268,871	1,422,124
経常利益	2,195,646	1,920,768
特別利益		
投資有価証券売却益	16,275	9,093
保険解約返戻金	79,662	—
受取保険金	—	335,370
特別利益合計	95,937	344,464
特別損失		
投資有価証券評価損	80,374	1,342
賃貸借契約解約損	133,956	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	29,722	—
その他	18,420	—
特別損失合計	262,474	1,342
税金等調整前四半期純利益	2,029,109	2,263,890
法人税、住民税及び事業税	354,323	912,171
法人税等調整額	555,433	65,250
法人税等合計	909,756	977,422
少数株主損益調整前四半期純利益	1,119,352	1,286,467
少数株主利益	98,982	168,175
四半期純利益	1,020,370	1,118,292



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,119,352	1,286,467
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57,481	△177,905
繰延ヘッジ損益	△277	—
為替換算調整勘定	△189,217	16,573
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△40
その他の包括利益合計	△132,020	△161,372
四半期包括利益	987,332	1,125,094
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	947,265	992,078
少数株主に係る四半期包括利益	40,067	133,016

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 2010年4月1日 至 2010年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注1) (千円)	合計 (千円)	調整額 (注2) (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) (千円)
	樹脂化成品 (千円)	製紙用薬品 (千円)	電子材料 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に対する売上高	14,725,503	9,799,991	3,655,494	28,180,989	3,034,353	31,215,343	△71,708	31,143,634
セグメント間の内部売上高又は振替高	160,375	6,522	—	166,897	32,641	199,538	△199,538	—
計	14,885,879	9,806,514	3,655,494	28,347,887	3,066,994	31,414,881	△271,247	31,143,634
セグメント利益	1,406,856	511,965	246,081	2,164,904	10,354	2,175,258	20,387	2,195,646

II 当第3四半期連結累計期間(自 2011年4月1日 至 2011年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注1) (千円)	合計 (千円)	調整額 (注2) (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) (千円)
	樹脂化成品 (千円)	製紙用薬品 (千円)	電子材料 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に対する売上高	38,707,322	10,128,797	3,568,772	52,404,892	2,900,561	55,305,453	△86,426	55,219,027
セグメント間の内部売上高又は振替高	159,804	466,592	—	626,396	34,472	660,869	△660,869	—
計	38,867,127	10,595,389	3,568,772	53,031,288	2,935,034	55,966,323	△747,296	55,219,027
セグメント利益又は損失(△)	2,109,890	662,961	144,454	2,917,307	△126,626	2,790,680	△869,911	1,920,768

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額は、棚卸資産の調整額等が含まれております。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

2012年3月期 第3四半期決算短信  
別紙ご参考資料

1. 設備投資額

	2011/3期		2012/3期	
	第3四半期累計(実績)	通期(実績)	第3四半期累計(実績)	通期(計画)
連結	10.8億円	17.9億円	17.5億円	22.0億円

2. 減価償却実施額

	2011/3期		2012/3期	
	第3四半期累計(実績)	通期(実績)	第3四半期累計(実績)	通期(計画)
連結	12.4億円	16.1億円	13.7億円	19.0億円

3. セグメント別売上高

	2011/3期		2012/3期	
	第3四半期累計(実績)	通期(実績)	第3四半期累計(実績)	通期(計画)
樹脂化成品	147.2億円	196.7億円	387.0億円	510.0億円
製紙用薬品	97.9億円	129.7億円	101.2億円	135.0億円
電子材料	36.5億円	48.5億円	35.6億円	49.0億円
その他	30.3億円	40.2億円	29.0億円	36.0億円

4. 海外売上高

	2011/3期		2012/3期	
	第3四半期累計(実績)		第3四半期累計(実績)	
	金額	比率	金額	比率
南北アメリカ	36.1億円	11.6%	114.4億円	20.7%
アジア	33.1億円	10.7%	63.4億円	11.5%
欧州他	1.9億円	0.6%	124.6億円	22.6%
合計	71.1億円	22.9%	302.4億円	54.8%